

連絡先 自動車局 審査・リコール課
 リコール監理室
 TEL 03-5253-8111 内線 42354
 フォン : http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成25年2月26日

| | | | |
|----------------------------------|--|---------|------------|
| リコール届出番号 | 3106 | リコール開始日 | 平成25年2月26日 |
| 届出者の氏名又は名称 | 問い合わせ先 TCM株式会社 TCM株式会社 取締役社長 濱田 秀樹 開発生産統括本部 品質保証部 TEL 0748-37-2261 | | |
| 不具合の部位(部品名) | 乗車装置(シート) | | |
| 基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因 | シートをボンネットの補強板が無い穴に取付けていたため、シート取付け部に亀裂が発生する可能性がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が拡大してシートにがたつきが発生し、最悪の場合、シートが外れるおそれがある。 | | |
| 改善措置の内容 | 全車両、シート取付け位置を補強板有りの穴に変更する。 補強板無しの穴は、前側2ヶ所に硬質シールを貼付けて塞ぎ、後側2ヶ所はシート取付け時に隠れるためにそのままとする。但し、シート取付け穴に損傷があった場合は、ボンネットの交換作業を同時に実施する。 | | |
| 不具合件数 | 0件 | 事故の有無 | なし |
| 発見の動機 | 市場からの情報による。 | | |
| 自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用者には、直接訪問あるいは電話等で連絡する。 ・自動車分解整備事業者には、使用者を全て把握しているので、周知のための措置は取らない。 ・改善実施済車には、キャビネット前面右上隅にNo.3106のステッカーを貼付する。 | | |

| 車名 | 型式 | 通称名 | リコール対象車の車台番号 (シリアル番号)の範囲および製作期間 | リコール対象車の台数 | 備考 |
|-----|----------|--|--|------------|----|
| TCM | KDP-F142 | 「FD35C2」 「FD40C2」 「FD45C2」 「FD35T2」 「FD40T2」 「FD45T2」 | F142-00378 ~ F142-01190 平成22年9月25日 ~ 平成24年9月11日 | 125台 | |
| | KDP-F143 | 「FD50T2」 | F143-00207 ~ F143-00472 平成22年10月4日 ~ 平成24年8月29日 | 33台 | |
| | (計2型式) | (計7車種) | (製作期間の全体の範囲) (平成22年9月25日~平成24年9月11日) | (計158台) | |

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。